

スポット ニュース 主立坑と換気立坑の坑口部分の基礎工事の状況

先月18日から開始された主立坑と換気立坑の2ヶ所での坑口部分の基礎工事は、土留の杭（掘ったときに土が崩れてこないように留めておく杭）を設置する作業が終了し、現在、地上から重機にて坑口部分を掘っています（地上から約10mまでを予定）。

なお、この坑口部分の基礎工事は平成16年3月まで行う予定です。



重機にて坑口部分を掘っている様子

第3回跡利用検討委員会を開催

8月19日、瑞浪市陶磁器会館にて第3回超深地層研究所跡利用検討委員会を開催しました。この委員会は岐阜県、瑞浪市、土岐市及び両市の議会代表、学識経験者、地域の代表、サイクル機構の役職員などで構成されています。この委員会では、地層科学研究終了後の超深地層研究所施設の利用計画を策定することになっています。

今回は、超深地層研究所の現状説明と今後の委員会の進め方等について論議されました。



写真は跡利用検討委員会の様子

用語あれこれ

【ペリドットとは？】
8月の誕生石でもあるペリドットは、透明でオリーブのような黄緑色の石として知られています。このペリドットの主成分は鉄とマグネシウムであり、その成分の比によって黄緑色からオリーブ色まで変化します。硬度は6.5～7.0（ダイヤモンドは硬度10）と宝石としては十分な硬さですが、ある方向に割れやすいという性質をもっています。

今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】

深いボーリング孔の掘削作業及び調査（8月19日現在）

（MIZ-1号孔：掘削長285mまで掘りました）

主立坑（直径約6.5m）と換気立坑（直径約4.5m）の坑口部分の基礎工事

浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測

狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測

研究所用地の境界地点における騒音・振動調査

【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

東濃地球科学セミナーのご案内

東濃地球科学セミナーを下記のとおり開催致します。皆様お誘い合わせの上、是非お越し下さい。

【テーマ】富士山で今何が起きているか、中部地方の他の火山では…
～火山噴火予知と防災の課題～

講師 ^{ふじい としつぐ} 藤井 敏嗣氏（東京大学地震研究所教授、火山噴火予知連絡会長）

日時：9月21日（日）14:00～15:30

会場：瑞浪市総合文化センター3階 講堂

来月の主な作業予定（9月）

【瑞浪超深地層研究所】

深いボーリング孔の掘削作業及び調査（MIZ-1号孔）

主立坑（直径約6.5m）と換気立坑（直径約4.5m）の坑口部分の基礎工事

建設管理棟（仮称）の建築工事

構内緑化工事

用地内水路覆工工事

浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測

狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測

【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご質問または、瑞浪超深地層研究所や正馬様用地の見学をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

：0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課（青木^{かやぶき}、茅吹、福島）